

佳作

「病いんそつぎよう」

岡山県 倉敷市立船穂小学校 三年

つつい 明子

「よくがんばったね。」

という、お医者さんのことばに、私はびっくりしました。お母さんは、

「先生、来年はもう、病いんにこなくてもいいんですか。」

と、しつもんすると、先生は、

「そつぎようですよ。」

と言ってくれました。

私は、とても小さく生まれました。体重は、千グラムぐらいで、ミルクがのめず、いきもできないので、生まれてすぐ、入いんしました。私は毎年病いんのみじゅくじ外来に、通っていました。今年の夏休みに病いんで、九さいの、はったつけんさをしました。けんさは、だんだんむずかしくなってきました。でも、今年やっとそつぎようできました。お母さんは、

「ほんとうにがんばったね。」

と、言ってくれました。

今では、ふつうにごはんを食べることができます。でも、ちいさいころは、小さいスープーさじくらいしか、食べられなかったので、お母さんは、私をおいかけて、食べさせていたそうです。また、保いく園のころは、よく病気をしたけど、今では元気になりました。

小さいころのことは、私はおぼえていません。でも、お父さんやお母さんは、何でも私のことを、おぼえているそうです。ちいさい時のことを聞くのが、とても楽しいです。

今の私は、ピアノをひいたり、工作をするのが大好きです。学校では、べんきようや友だちと遊ぶことが楽しいです。本を読むことや、ごはんをたくさんたべることもできます。

今は、とても元気に大きくなりました。今の私があるのは、お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん、そして、お医者さんたちの、大ぜいの人たちに、たすけられたからです。こんなに、せいちょうして、うれしいです。これから、元気にすごしたいです。

みんな、ありがとう。